

第 1 2 回 宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

1. 日 時 昭和 5 7 年 1 0 月 6 日（水）
午後 2 時～ 2 時 3 0 分
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 昭和 5 7 年度 8 ～ 9 月期における
人工衛星及び人工衛星打上げ用ロ
ケットの打上げ結果の評価に関す
る審議について
4. 資 料
委 1 2 -- 1 第 1 1 回宇宙開発委員会（定例会
議）議事要旨（案）
委 1 2 -- 2 昭和 5 7 年度 8 ～ 9 月期における
人工衛星及び人工衛星打上げ用ロ
ケットの打上げ結果の評価に関す
る審議について（案）

委12-1

第11回 宇宙開発委員会（定例会議） 議 事 要 旨 （案）

1. 日 時 昭和57年9月8日（水）午後2時～3時
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 (1) 技術試験衛星Ⅲ型（ETS-Ⅲ）の打上げ結果について
(2) 長期ビジョン特別部会の設置について
(3) その他
4. 資 料
 - 委11-1 第10回宇宙開発委員会（臨時会議）議事要旨（案）
 - 委11-2 技術試験衛星Ⅲ型（ETS-Ⅲ）の打上げ及び追跡管制結果の概要
 - 委11-3 長期ビジョン特別部会の設置について（案）
 - 委11-4 長期ビジョン特別部会構成員（案）
 - 委11-5 第二部会長の指名について

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理	吉 識 雅 夫
“ 委員	齋 藤 成 文
“ “	井 上 啓 次 郎
“ “	大 塚 茂
説明者	
宇宙開発事業団理事	平 木 一
“ “	平 井 正 一
関係省庁職員等	
科学技術庁研究調整局長	加 藤 泰 丸
“ 長官官房審議官	辻 栄 一
文部省学術国際局審議官	植 木 浩
	（代理：佐藤）
通商産業省機械情報産業局次長	石 井 賢 吾
	（代理：古市）
運輸大臣官房審議官	武 石 章
	（代理：千田）

運輸省気象庁総務部長

栗 山 昌 久
（代理：里見）

郵政省電波監理局審議官

高 橋 幸 男
（代理：木原）

建設大臣官房参事官

萩 原 浩
（代理：太島）

宇宙開発事業団衛星設計第2グループ総括開発部員

市 川 洋

“ 追跡管制部長

船 川 謙 司

“ 筑波宇宙センター所長

宇 田 宏

“ システム計画部計画課長

中ノ森 哲 宏

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長

吉 村 晴 光

“ “ 宇宙国際課長

中津川 英 雄

“ “ 宇宙開発課長

吉 野 隆 治

他

6. 議 事

(1) 前回議事要旨の確認

第10回宇宙開発委員会（臨時会議）議事要旨案（資料委11-1）が確認された。

(2) 技術試験衛星Ⅲ型（ETS-Ⅲ）の打上げ結果について

宇宙開発事業団の平木一理事及び平井正一理事より、資料委11-2に基づき説明が行われた。

(3) 長期ビジョン特別部会の設置について

事務局より、資料委11-3及び委11-4に基づき説明が行われたのち、原案どおり特別部会の設置が決定された。

(4) その他

事務局より、資料委11-5に基づき説明が行われたのち、宮憲一専門委員が第二部会長に指名された。

昭和57年度8～9月期における人工衛星
及び人工衛星打上げ用ロケットの打上げ結
果の評価に関する審議について(案)

昭和57年10月6日
宇宙開発委員会決定

1. 昭和57年度8～9月期において宇宙開発事業団が行ったNロケット9号機(F) (N-Iロケット7号機(F)) による技術試験衛星Ⅲ型(ETS-Ⅲ)の打上げの結果を評価するために調査審議を行うものとする。
2. このため、評価に必要な技術的事項について、第四部会において調査審議を行うものとする。この調査審議は、昭和57年11月末までに終えることを目途とする。

宇宙開発委員会第四部会構成員

昭和57年10月

(50音順)

部会長	佐貫亦男	日本大学理工学研究所顧問
部会長代理	内田茂男	名城大学理工学部教授
専門委員	秋葉鏖二郎	文部省宇宙科学研究所教授
	大島耕一	文部省宇宙科学研究所教授
	小林繁夫	東京大学工学部教授
	中込雪男	国際電信電話株式会社取締役
	長洲秀夫	科学技術庁航空宇宙技術研究所 宇宙研究グループ総合研究官
	林友直	文部省宇宙科学研究所教授
＊	平井正一	宇宙開発事業団理事
＊	平木一	宇宙開発事業団理事
	前田弘	京都大学工学部教授
	虫明康人	東北大学工学部教授
	若井登	郵政省電波研究所長

注) ＊印の専門委員は、今回の調査審議については、説明者として参加する。